

じっけん ボンドで実験

結果（けっか）を見る ↓

結果（けっか）



わあ、きれい！
ツリーに雪（ゆき）が
つもったような
結晶（けっしょう）ね！



※温度（おんど）や湿度（しつど）によっては、結晶（けっしょう）ができるまでの時間（じかん）がかわります。

結晶（けっしょう）が できるわけは……？

尿素（にようそ）は、水（お湯（ゆ））にたくさんとける。そのため、水にとけていた尿素（にようそ）は、水が蒸発（じょうはつ）すると、水にとけていられなくなって出てくる。これを、ルーペや顕微鏡（けんびきょう）などで観察（かんさつ）すると、規則（きそく）正しい形（かたち）になっている。このようなものを「結晶（けっしょう）」という。



はってん

発展

じっけん

もっと実験してみよう

「ボンド 木工用」の
量（りょう）をかえると、
結晶（けっしょう）のかたち
がかわるよ！



尿素（にようそ）がとけた液（えき）に「ボンド 木工用（もっこうよう）」を加（くわ）えると、「ボンド 木工用（もっこうよう）」にふくまれている酢酸（さくさん）ビニル樹脂（じゅし）が結晶（けっしょう）を固（かた）まりやすくすると考（かん）がえられる。「ボンド 木工用（もっこうよう）」の量（りょう）をかえると結晶（けっしょう）のでき方（かた）がかわるので、実験（じっけん）してみよう。